

令和3年度学校給食終了、**一年間、ご協力ありがとうございました！**

令和3年度の学校給食も、コロナ禍の中で、無事終了しました。各校、給食センターの栄養教諭、学校栄養士、給食支援員・調理員のみなさん、関係者のみなさんに感謝申し上げます。ありがとうございました。

令和4年度は、パンやご飯、牛乳などの基本物資をはじめ、給食用一般物資の値上げが軒並み予想され、とても厳しい状況にあります。皆様、ご存知のように、昨年から続いている新型コロナウイルスの感染拡大が世界経済に大きな影響を与え、急激な物価上昇を招いております。それに伴い、学校給食用食材等の原材料価格も高騰が続き、電気料金等の光熱費の値上げ、ガソリン代等の輸送費の値上げに加え、本県の最低賃金も30円引き上げられるなど、コストアップの要因が生じており、給食用物資も値上げせざるを得ない大変厳しい状況になっております。

一方では、各方面から値上げの要望が強まる中、来年度から各市町村の給食費の値段が上がるという情報は、ほとんど聞かれず、保護者の負担をできるだけ少なくしたいという学校や教育委員会の意向もあり、どの市町村も給食費の値段は据え置かれるのが現状のようです。

本会としては、未来を担う大切な子どもたちの健全な成長のために、安全・安心で、できるだけ安価な給食用物資の提供を安定して行い、信頼され、求められ、愛される学校給食会を目指しておりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

地元商工会青年部、6小学校に特産品**「皆瀬牛、おいしいよ」 コロナ下、元気づけたい**

湯沢市のゆざわ小町商工会青年部は今年、新型コロナウイルス下の地元児童を励まそうと、6小学校に地元の特産品を贈った。新型コロナの影響でさまざまな制限を強いられる児童を元気づけようと企画した。

皆瀬小学校（船山育士校長）には11日、皆瀬牛が贈られた。全校児童69人が2時間目の後の休み時間に各教室で串焼きを味わった。

児童たちは、「良い匂い」「おいしい」と話しながら、笑顔で頬張っていた。6年の藤原魁士君は「地域の人たちの『元気づけたい』という気持ちがうれしかった。今度は僕たちから地域に何か

恩返ししたい」と話した。

商工会青年部によると、子どもたちが地元特産品に触れる機会になればと、皆瀬牛のほか、稲庭、三梨、川連、駒形、雄勝の児童には川連塗の箸を贈った。後藤武典部長は「地元を誇りに思い、地域を担う大人に成長してもらいたい」と語った。

（湊文香）

（令和4年3月21日（月）秋田魁新聞記事より抜粋）